

臨床検査ニュース

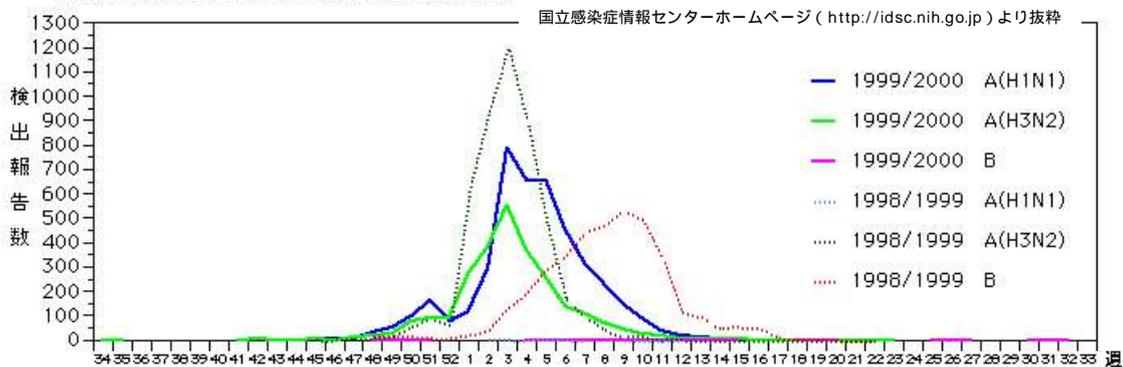
平成 12 年 10 月 12 日

インフルエンザワクチン、何回注射するの？

65 歳以上の高齢者、気管支喘息をもつ小児、肺や心臓の病気の患者、糖尿病、腎不全、免疫不全症、アスピリンを内服している方、妊婦などは、重症化を防ぐためにワクチンでの予防が望ましいとされています。これらの患者さんに日常接する機会の多い医療者も該当します。

昨年度のワクチン株：香港型ウイルス A/シドニー/5/97(H3N2)、ソ連型ウイルス A/北京/262/95(H1N1)、B 型ウイルス/山東/7/97

週別インフルエンザウイルス分離報告数、シーズン別比較（1998/1999、1999/2000）
（病原微生物検出情報：2000年9月20日現在報告数）



昨年から今春にかけての流行ウイルス抗原分析結果：H3N2 型は A/Moscow/10/99 類似株と A/Panama/2007/99 類似株で、これらは A/シドニー/5/97(H3N2)に類似するものでした。H1N1 型は A/New Caledonia/20/99 類似株と A/Bayern/7/95 類似株で、B 型は B/北京/184/93 類似株と B/山梨/166/98 類似株でした。

今年度のワクチン株：H3N2 型は A/Panama/2007/99 (A/Moscow/10/99 類似株、A/シドニー/5/97(H3N2)にも類似)、H1N1 型は A/New Caledonia/20/99、B 型は B/山梨/166/98 類似株です。昨年のワクチン株や流行した株との類似性があります。

WHO の指針では、幼少時を除くすべての年齢に対して 1 回接種、これまでワクチン接種を受けていない小児に対しては、4 週間以上の間隔で 2 回を原則としています。国立感染症研究所の意見では、65 歳以上は 1 回接種、13 歳未満 2 回接種が原則、それ以外の年齢層は、最近感染歴がある場合は 1 回接種、最近の感染歴がない場合は 2 回接種を奨めるとのことでした。ただし、昨年度のワクチン接種歴があれば 1 回でも良いとのことでした。

参考文献：1) WHO, WER 75, No.35, 287, 2000

2) 病原微生物検出情報 月報 21, No.4, 78, 2000

臨床病理科 検査医 腰原 公人

内線 3559 PB-323

(Clinical Test News No.6/2000.10)